

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ジュニアスペースらいぶ守山		公表日 令和8年2月26日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1		建物の広さに制約はあるものの、勉強や気持ちを落ち着かせるためのスペースをもう少し確保できればと考えます。現状は適切でバリアフリーかつ死角のない空間ですが、個別に過ごせるスペースの充実は今後の課題です。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	5	不穏行動に合わせて人数を多く配置している。	曜日によっては送迎時間帯を含め、マンツーマン対応の児童が複数いる日もありますが、状況に応じて職員配置の工夫を図りながら、より充実した支援体制の整備に努めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	入り口を入ってすぐに下駄箱を設置し、使いやすい動線にしています。	来所後の準備・行動・片付け・持ち物に関する視覚支援について、さらなる充実を図ってまいります。障がい特性に配慮したバリアフリー環境は整っておりますが、不穏時にも安心して過ごせるスペースを設けることで、より一層支援の質を高めていきたいと考えております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	3	児童が走り回れるフロアにしています。	清潔面については、より快適な環境づくりを目指し、清掃の徹底に取り組んでまいります。また、広く集団で過ごせる環境を活かしつつ、不穏時にも安心して落ち着けるスペースの充実を図ってまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		静の部屋で勉強したり、一人になりたい時は個別の部屋を準備しています。	個別の部屋はございますが、人数が多い日でも快適にご利用いただけるよう工夫を行っていきます。学習室や更衣室についても、状況に応じて個別でご利用いただくなど、柔軟に対応していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	児童の個別支援計画を共有しやすくしています。職員全員で意見を出し合い改善に努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	改善すべきところは検討しています。可能な限り取り組んでいます。	ミーティングに全職員が参加できない場合も多いため、情報共有の機会がより必要と考えています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	毎週ミーティングを実施しています。実施できない場合も問題等は都度情報共有し、改善に繋がっています。	ミーティングへの参加が難しい場面もあるため、社員とパート間での情報共有をより分かりやすく整え、意見交換の機会を増やしていくことで、全職員の業務改善につなげていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	可能な限り改善に努めています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	強度行動障がい研修参加や避難訓練研修など、積極的に実施しています。運動療育も定期的に実施しています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	年間プログラムを作成し、その計画に基づいて実施しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		児童発達支援管理責任者が個々に面談を行い、保護者様のニーズに則して、無理の無い計画を実施しています。	

13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	2	アセスメントの結果を基に、職員で検討しています。	
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		個別支援計画は個別にファイリングしていて、常に職員が確認できるようにしています。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	3	5領域に基づいたアセスメント用紙に日々の行動観察を記録しています。	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		5領域に沿った支援内容で計画を作成し、具体的な支援内容を設定しています。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		常勤職員を中心に立案しています。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	毎月支援内容が被らないよう様々な工夫をしています。季節に応じた支援内容を取り入れるなど工夫しています。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	集団での行動に上手に取り組めない児童については個別に寄り添っています。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		7	アルバイトスタッフの方の出勤時間が限られているため、十分な打ち合わせの時間を確保することは難しい状況ですが、職員ノートを活用することで、必要な情報共有は円滑に行えています。	状況に応じて打ち合わせを実施し、可能な範囲で事前共有を積極的に行っていきます。課題が生じた際には速やかに話し合いを行い、共有ノートを活用することで、職員全体で円滑に情報共有できる体制を整えていきます。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	5	職員全員に余裕がある場面では、適切に対応できていると考えています。問題行動が見られた際には、終了後を待たずその場で速やかに共有し、打ち合わせを行っています。	共有は継続して行ってまいりますが、全員が揃う形に限らず、状況に応じて個別にお伝えし合う形で進めていきます。送迎等の都合も踏まえ、円滑に情報共有ができるよう取り組んでまいります。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	児童の様子を日々記録し、いつでも情報を共有できる体制を整えています。	支援記録は毎日作成し、限られた職員体制の中でも全体を把握できるよう取り組んでいきます。今後も、より丁寧で充実した記録となるよう努めてまいります。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	2	3か月・6か月ごとの見直しに加え、状況の変化が見られやすい児童については、1か月ごとに見直しを行い、より適切な支援につなげています。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	2	実施しています。	「地域交流の機会の提供」については、長期休みなどを活用し、さらに充実させていきたいと考えています。自立支援や創作活動、余暇活動は実施できているため、今後は地域交流にも積極的に取り組んでいきたいと思えます。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	作品づくりや活動への参加については無理に促すことはせず、取り組みが難しい時も本人の意思を尊重しながら実施しています。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	管理者兼児童発達支援管理責任者が参加しています。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	3	協力医療機関に連携をお願いしています。	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	2	保護者様より下校時間をお知らせいただいております。また、年間計画につきましても、放課後等デイサービスへさらに共有いただけると、より円滑な支援につながると感じております。予定や下校時間に変更があった際には、その都度ご連絡をいただいております。	

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	6	保育所・幼稚園・認定こども園との直接的な連携は現在進行中ですが、保護者様を通じて情報共有を行い、円滑な連携に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3	卒業時には、情報共有など必要に応じて協力できる旨を保護者様へお伝えしており、現時点ではご依頼はいただいております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3		児童発達支援センターからの研修案内は現時点ではありませんが、案内があった際には積極的に参加してまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		7		地域の他の児童との交流については、発達障害のある児童への理解を深めながら、今後さらに広げていきたいと考えております。現時点では十分な交流には至っていませんが、交流の機会を積極的に創出していきたいと思っております。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	7		管理者が定期的に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎の際には、児童の様子を丁寧にお伝えするよう努めています。また、送迎時に支援の様子も共有し、日頃の状況について相互に情報共有を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5		ご家族様が参加できる研修や機会があれば、積極的に情報提供を行ってまいります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		6ヶ月を目安(必要に応じて早期対応)に面談を実施し、保護者様のニーズに寄り添った支援を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	1	新たに作成した際は保護者様へ丁寧に説明を行い、ご同意をいただいております。作成後も必ず内容をご説明し、相違がある場合には適宜見直し・修正を行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		送迎の際にはご相談内容を丁寧に伺い、必要に応じて管理者による面談も実施しております。また、個別のご相談についてはその都度お話を伺いながら継続的にサポートを行っております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	6		お仕事をされている保護者様が多くいらっしゃるため、現状では保護者様同士の交流の機会を設けることが難しい状況です。今後は交流の機会を広げていけるよう取り組んでまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		何かあった際には管理者が速やかに連絡を取り、丁寧にお話を伺っています。また苦情や疑問につきましても、しっかりとお話を聞きし、迅速な対応に努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月、プログラム表とともに行事内容を掲載しており、楽しみにしている児童も見られます。あわせて、ホームページでも積極的に発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		お預かりしている情報は鍵付きのロッカーで適切に保管しており、社員一同、ルールを遵守しながら管理しております。	
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		保護者様からの質問は丁寧に回答しています。	視覚支援などが足りないと感じることが課題です。	

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		計画に一定の時間を要するため慎重に検討が必要と考えております。以前はお祭りなどのイベントを実施していましたが、コロナ禍以降は自粛している状況です。今後は状況を見ながら、開催の機会を前向きに検討してまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2	マニュアル策定および訓練を定期的に行っています。	ご家族様にも分かりやすい場所へ掲示し、より見やすくお伝えしてまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		年2回、社員と子どもたちが一緒に避難訓練を実施しています。また安全計画についても年4回見直しを行い、安全性の向上に努めています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	契約時に保護者様から詳しい情報をご提供いただき、理解を深めております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		個別対応を実施しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		3か月に1回以上の頻度で研修を実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		ご家族様にも分かりやすい場所へ掲示し、より見やすくお伝えしてまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		何かあった際には当日や翌日には情報を共有できています。伝達事項はノートで確認できる体制が整っています。またヒヤリハット事案が発生した場合には職員間で積極的に話し合い、改善に取り組んでいます。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		定期的な研修を実施しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1	基本的に身体拘束は行わず、安全で安心な支援を心がけています。契約時には、3つの要件について保護者様に丁寧にご説明しています。		